

■成長段階・経営改善等の支援、地域貢献活動

佐賀・長崎信用金庫 個別商談会への参加

ひげしんが、中小企業支援の柱として考えているものが、「東京ビジネスミット」への継続的参加です。今回、新たな地元中小企業の販路拡大策として佐賀・長崎県内の信用金庫が協力し、大手バイヤーとの個別商談会を開催しました。



ひげしん経営セミナーの開催

ひげしん経営セミナーは、中小企業経営者の経営サポートとして、年2回の経営セミナーを開催し、経営情報を提供しております。(写真の内容：「今年こそ補助金を使って事業拡大すべし!」WeBiz株式会社代表取締役社長 新谷哲氏)



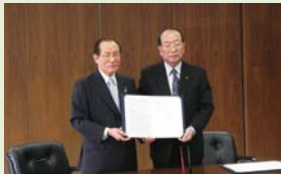
ひげしん麻チャリティクラウンゴルフ大会の実施

平成23年から開催しており、第4回目となる本大会は350名(1チーム6～7人制; 52チーム)のご参加を頂きました。なお、チャリティは総額115,850円になり、東日本大震災被災地へ贈っております。



佐世保市との地域活性化活動に関する協定締結

ひげしんと佐世保市は、それぞれの経営資源を有効活用し、佐世保市の中小零細企業の発展と地元活性化のために相互に情報の共有を図り、地元地域経済の発展を目的とした協定を締結致しました。



献血事業推進活動の顕彰

ひげしんは、献血のボランティア活動を毎年行っております。その献血活動に対しての功績を認められ、本年7月に佐賀県知事より感謝状を頂きました。



詐欺被害の未然防止

本年7月、当金庫俵町支店の窓口にて、架空会社社債投資で送金を強制されたお客様に対し、佐世保署へ通報して詐欺を未然に防いだとして、同署から感謝状を頂きました。(写真：長崎新聞社提供)



店舗一覧

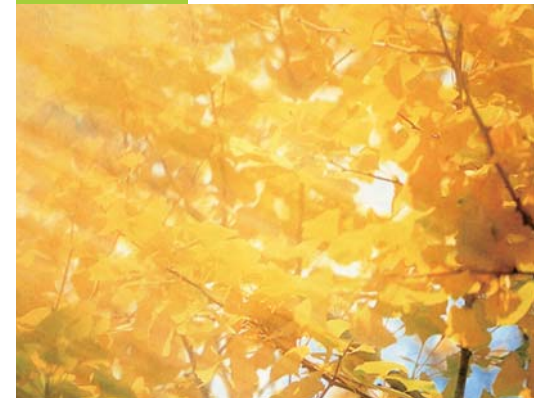
本部	〒843-0024	佐賀県武雄市武雄町大字高岡8894番地	☎0954-23-1281
本店営業部	〒843-0024	佐賀県武雄市武雄町大字高岡8894番地	☎0954-23-1181
大町支店	〒849-2102	佐賀県杵島郡大町町大字福母381番地1	☎0952-82-3181
白石支店	〒849-1112	佐賀県杵島郡白石町大字福田2276番地5	☎0952-84-4181
嬉野支店	〒843-0301	佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙553番地2	☎0954-42-0181
鹿島支店	〒849-1311	佐賀県鹿島市大字高津原4034番地3	☎0954-62-7181
宮野町支店	〒843-0022	佐賀県武雄市武雄町大字武雄7319番地	☎0954-23-2181
北方支店	〒849-2204	佐賀県武雄市北方町大字大崎1095番地3	☎0954-36-5181
山内支店	〒849-2303	佐賀県武雄市山内町大字三期坂甲13821番地1	☎0954-45-6181
佐世保営業部	〒857-0043	長崎県佐世保市天満町1番15号	☎0956-22-5181
本島支店	〒857-0871	長崎県佐世保市本島町1番6号	☎0956-24-5181
大宮支店	〒857-0841	長崎県佐世保市大宮町8番19号	☎0956-31-6126
俵町支店	〒857-0016	長崎県佐世保市俵町9番12号	☎0956-23-1101
大野支店	〒857-0136	長崎県佐世保市田原町10番12号	☎0956-49-3341
相浦支店	〒858-0918	長崎県佐世保市相浦町1615番地2	☎0956-47-3105
早岐支店	〒859-3215	長崎県佐世保市早岐2丁目3番17号	☎0956-38-3148
大村支店	〒856-0826	長崎県大村市東三城町5番地	☎0957-52-2141
竹松支店	〒856-0805	長崎県大村市竹松本町956番地1	☎0957-55-7144
諫早支店	〒854-0072	長崎県諫早市永昌町18番1号	☎0957-26-3556
西大村支店	〒856-0024	長崎県大村市諏訪1丁目604番地1	☎0957-52-4100

街に笑顔の花咲かせましょう
九州ひげせん信用金庫

街に笑顔の花咲かせましょう
九州ひげせん信用金庫

ひげしん 経営レポート

2014・9・30

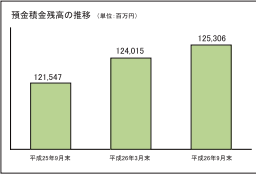


■主要勘定(預金・貸出金)の状況

預金科目別残高

金利上昇せ商品「すまいるアップ定期預金」を中心に個人向け定期預金残高が増加して、期末残高は前年同期比37億円増の1,253億円となりました。

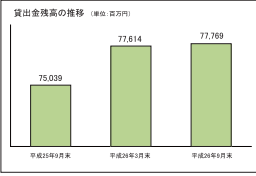
	平成25年9月期	平成26年3月期	平成26年9月期
流動性預金	35,446	36,889	35,880
当座預金	2,261	2,697	1,483
普通預金	32,129	32,748	33,276
貯蓄預金	190	178	191
その他	864	1,264	928
定期性預金	86,101	87,125	89,426
定期預金	81,201	82,338	84,798
定期積金	4,899	4,789	4,627
合計	121,547	124,015	125,306



貸出金科目別残高

貸出金は、個人向け消費資金が13億円増加し、事業性資金も8億円、地公体向け貸出は5億円増加。期末残高は、前年同期比27億円増の777億円となりました。

	平成25年9月期	平成26年3月期	平成26年9月期
割引手形	524	633	471
手形貸付	4,449	5,232	4,541
証券貸付	67,018	68,449	69,329
当座貸越	3,047	3,298	3,425
合計	75,039	77,614	77,769



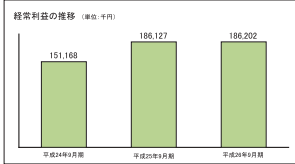
貸出金業種別残高

	平成25年9月期	平成26年3月期	平成26年9月期
製造業	3,065	3,125	3,001
農業、林業	211	208	203
漁業	134	127	134
鉱業、採石業、砂利採取業	78	93	98
建設業	5,078	5,504	4,862
電気・ガス・熱供給・水道業	35	50	68
情報通信業	53	48	70
運輸業、郵便業	533	273	263
卸売・小売業	6,680	6,773	7,114
金融業、保険業	234	708	710
不動産業	14,438	14,132	14,671
物品賃貸業	510	585	592
学術研究、専門・技術サービス業	40	41	51
宿泊業	3,991	3,882	3,763
飲食業	2,395	2,358	2,334
生活関連サービス業、娯楽業	2,223	2,254	2,112
教育、学習支援業	293	276	213
医療、福祉	3,827	4,293	4,541
その他のサービス業	3,238	3,612	3,100
小計	47,955	48,352	47,908
地方公共団体	6,777	7,457	7,337
個人	21,206	21,824	22,523
合計	75,039	77,614	77,769

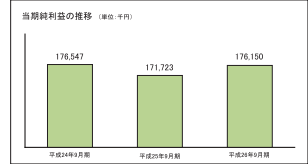
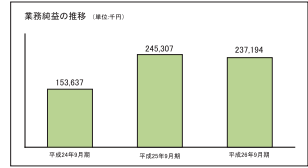
■業績ハイライト

損益の状況

	平成25年9月期	平成26年9月期
経常収益	1,378,183	1,335,226
業務収益	1,377,119	1,317,879
資金運用収益	1,213,013	1,181,638
臨時収益	1,063	17,347
経常費用	1,192,055	1,149,024
業務費用	1,131,812	1,080,684
資金調達費用	57,048	65,197
経費	894,271	878,076
一般貸倒引当金	20,529	△ 1,872
臨時費用	60,242	68,339
貸倒引当金繰入	54,177	60,490
経常利益	186,127	186,202
業務純益	245,307	237,194
業務粗利益	1,160,107	1,113,398
コア業務純益	230,512	185,915
特別損益	△ 1,323	△ 1,035
当期純利益	171,723	176,150



中間期純利益は1億7,615万円を計上しました。
業務収益は、有価証券利息配当金が減少したことなどにより、減収となりましたが、業務費用も減少した結果、経常利益は前年同月比ほぼ横ばいの186百万円となりました。また、平成26年9月期の当期純利益は、前年同期比4百万円の増益となりました。
なお、金融機関の本来的な収益力を示すコア業務純益は185百万円となりました。



■資産運用の状況

不良債権の状況(金融再生法)

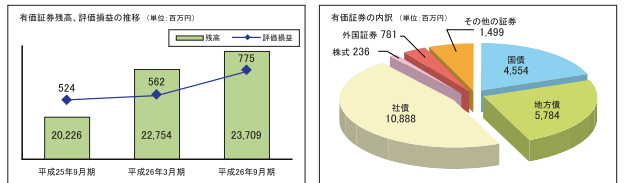
開示債権区分	平成25年9月期	平成26年3月期	平成26年9月期	担保・引当金等による保全額	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,566	3,227	3,103	3,103	100.00%
危険債権	1,171	725	722	551	76.36%
重要管理債権	382	127	128	76	59.82%
不良債権計	5,120	4,080	3,954	3,732	94.37%
正常債権	70,410	73,984	74,260		
合計	75,530	78,065	78,215		
不良債権比率	6.77%	5.23%	5.05%		

「不良債権比率」5.05% 「保全率」94.37% 不良債権に十分な対応をはかっています。
ひげしんでは、金融検査マニュアルに準拠した自己査定基準に沿って、適性かつ厳格な自己査定を行っております。
平成26年9月期の不良債権額は、残高の圧縮に向けた回収や資産処分など積極的な取り組みの結果、前年同期比1,166百万円減少しました。また、担保・貸倒引当金により、不良債権の94.37%を保全しており、内部留保とあわせて十分な対応をはかっております。
なお、金融再生法ベースでの不良債権比率は5.05%となっております。

有価証券の時価開示

その他保有 目的の時価 のあるもの	平成25年9月期			平成26年3月期			平成26年9月期			
	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	貸借対照表計上額	評価差額	うち損	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	
株式	97	12	13	1	149	0	5	210	18	23
債券	17,836	433	446	13	20,384	479	8	21,228	563	566
その他	2,292	78	119	41	2,219	82	115	33	2,271	194
合計	20,226	524	579	55	22,754	562	609	47	23,709	775

時価を把握することが極めて困難なものを除く
平成25年9月期 貸借対照表計上額 20,226
平成26年3月期 貸借対照表計上額 22,754
平成26年9月期 貸借対照表計上額 23,709
有価証券運用は775百万円の含み益を確保しております。
有価証券運用は安全運用を心がけており、含み益も十分に確保しております。

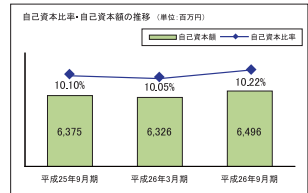


自己資本比率の状況(国内基準)

	平成25年9月期	平成26年3月期	平成26年9月期
基本的項目の額	5,855	6,326	6,496
自己資本の額	6,375	6,326	6,496
リスク・アセット等計	63,078	62,922	63,534
基本的項目(Tier)比率	9.28%	10.05%	10.22%
自己資本比率	10.10%	10.05%	10.22%
総所要自己資本額	2,523	2,516	2,541

「単体自己資本比率」10.22%程度。ひげしんは健全経営を続けております。

自己資本比率は、リスクの可能性のある資産に対して自己資本がどれだけあるかを示す指標で、金融機関経営の健全性・安全性を示す指標です。
平成26年9月期の単体自己資本比率は、前年同期比0.12ポイント上昇し、10.22%程度となり、国内基準である4%を大きく上回っております。この水準は、ひげしんの経営が健全かつ安全であることを示しております。なお、平成26年3月期よりバーゼルIII対応で算出しております。



当経営レポートは、仮決算に基づき、当金庫任意の情報として開示するものであり、平成25年9月期および平成26年9月期の計数につきましては、監査法人の監査を受けておりませんので、ご承知下さい。